目的:公共事業の効率性と実施過程における透明性の向上

新規評価



- ・新たに着手する事業箇所 を定めた「新規評価マニュ 事業種類毎に評価基準 を対象に実施
 - が適切かどうかを判断しま アル」を使って、事業に入 ること(予算をつけること)

再評価



経済情勢等の変化などの 視点に基づき、事業の継 続が適切かどうかを評価 事業の進捗状況、社会 にます。

事後評価

- 事業完了後、おおむね5 年を経過した事業を対象 に実施
- 発現しているかどうかを評 当初計画していた効果が 価し、今後の事業の改善 ・完成した事業について、 こ結びつけます。







答由

答由

能問

各由

能問

公共事業の効果に 関する検証

> 公共事業の継続の 適否に関する審議

新規評価マニュアルに

関する審議

員会 佐賀県公共事業評価監視委

学識者5名、民間からの選出委員5名の合計10名で構成 委員会の現状》



新規評価対象事業の分類

整備系

社会資本の新築及び改築に関する事業

広域事業

県の施策に基づき、広域的な視点から実施する事業

道路事業、農道事業

生活関連事業

地域住民の生活に密接に関連し、安全性や利便性向上を主目的で行う事業

道路事業、街路事業、都市公園事業、河川事業、砂防事業、地すべり対策事業、急傾斜地崩壊対策事業、 港湾事業、海岸事業、県営住宅事業、農道事業、中山間事業、クリーク防災事業、ため池等事業、湛水防除事業、 水環境整備事業、漁港海岸事業、治山事業、林道事業

産業活性化事業

県内の基幹産業の振興を促す又は産業の効率化を図る目的で行う事業

港湾事業、経営体育成基盤整備事業、農業水利事業、漁港事業、農道事業、中山間事業、クリーク防災事業、 ため池等事業、湛水防除事業、水環境整備事業

維持米

既存社会資本の維持管理に関する事業

維持管理事業

既存施設の利活用に関しての機能保全や管理者責任で行う事業

道路事業、土地改良事業(水利施設)、河川事業、ダム事業、港湾事業、漁港事業

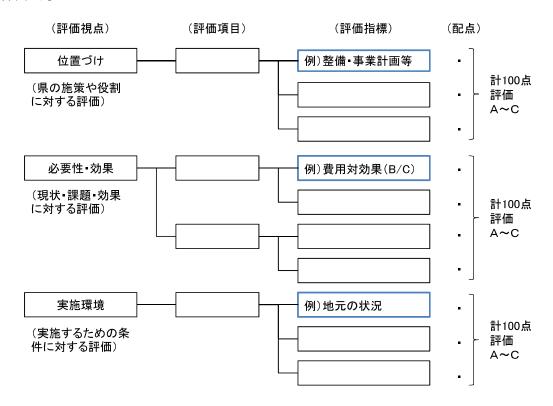
新規評価対象事業の分類

評価マニュアルの体系及び基準

〈〈評価マニュアル〉〉

〇評価体系

・ 各事業の特性を表す評価指標を設け、事業実施の目的、効果及び条件を客観的に数値化し、視点毎 に合計する。



○評価基準、判断基準

・ 評価指標毎の合計点により下記のとおり区分するものが評価基準、またその結果を組み合わせて事業の可否を決定する判断基準。

評価基準 (評価視点毎の合計点数)

	位置づけ	必要性・効果	実施環境
A	80 点以上	80 点以上	80 点以上
В	60 ~ 80 点未満	60 ~ 80 点未満	60 ~ 80 点未満
С	60 点未満	60 点未満	60 点未満

判断基準 (評価基準の組み合わせ)

ランク	整備方針	評価の組み合わせ
I	優先的に事業を実施	AAA, AAB
П	事業を実施	ABB, BBB
Ш	 新規着手を見合わせる	AAC, ABC
Ш	利別有子を見られてる 	ACC, BBC, BCC, CCC

新規評価マニュアルの追加について 【まちづくり推進課】

対象事業:整備系【生活関連事業】都市公園事業

🗭 佐賀県

Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

〇目次

- 1. 都市公園とは
- 2. 佐賀県が管理する3つの都市公園
- 3. 新規評価マニュアルの位置づけ
- 4. 新規評価マニュアル追加の目的
- 5. 新規評価マニュアル評価体系・評価項目

1. 都市公園とは











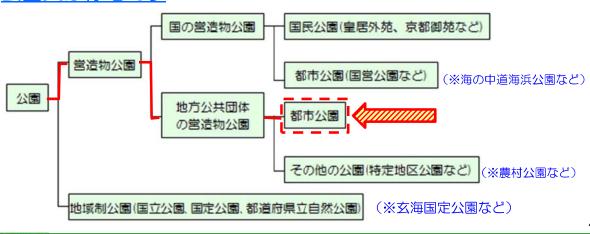
₩ 佐賀県

Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

1. 都市公園とは

都市公園とは、

・住民のレクリエーションの空間となるほか、良好な都市景観の形成、都市環境の改善、都市の防災性の向上、生物多様性の確保、豊かな地域づくりに資する交流空間など多様な機能を有し、都市計画区域内において国、又は地方公共団体が設置した公園又は緑地です



₩ 佐賀県









4. 新規評価マニュアル追加の目的

都市公園の整備を行う場合、

- <u>老朽化施設の更新等の維持管理は「公園施設長寿命化計画</u>」
- ・ 新たな公園整備や公園区域の拡大等の必要性が生じた場合は 「新規評価マニュアル(整備系)生活関連事業」により評価を行う

4. 新規評価マニュアル追加の目的

しかしながら、これらの評価手法では<u>"公園区域の拡大等を</u> 伴わない(既存の公園区域内における)"大型遊具や運動施設 等の「個別施設の増設・増強(規模拡大等)」の評価に対応で きない



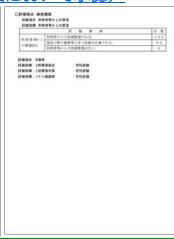
4. 新規評価マニュアル追加の目的

これまで「個別施設の増設・増強(規模拡大等)」が生じた場合は、"維持系"の「新規評価マニュアル」を準用し評価を行ってきたが、<u>昨年度、公園施設長寿命化計画による維持管理への移行にともない、「新規評価マニュアル(維持系)」は廃止となった。⇒これを補完する評価指標が必要</u>

--(平成26年9月2日開催公共事業評価監視委員会において承認)







11

₩ 佐賀県

Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

4. 新規評価マニュアル追加の目的

今後、「国民体育大会の開催」や「新たな公園利用者の誘致・公園利用者の増」に伴い、施設等の増設・増強等が見込まれることから、今回新たに「個別施設の増設・増強(規模拡大等)」に対応できる「新規評価マニュアル(整備系)」を作成したい

【「増設・増強(規模拡大等)」が想定される施設例】

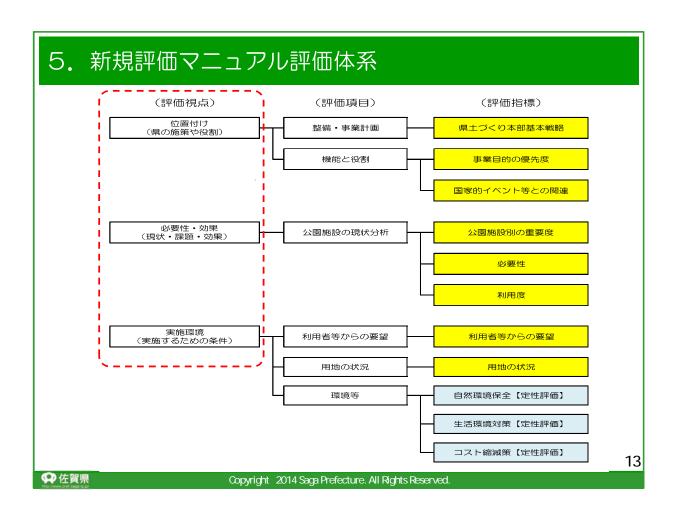
・野球場補助施設(練習場等)、観客席の増設

・テニスコートの増設(面数拡大)

- ・ 大型遊具の増設
- 駐車場の増設
- 休憩場、トイレ等の増設



₩ 佐賀県





5. 新規評価マニュアル評価項目【必要性・効果】

○評価視点:必要性・効果 評価項目:公園施設の現況分析 評価指標:公園施設別の重要度

15	評 価 要 素	点 数
公園利用に対す る対象施設の重 要度	各公園の主たる設置目的(テーマ)と合致した公園施設である	4 0
	上記以外の公園施設である	2 0
	公園施設ではない	О

≪各公園の主たる設置目的 (テーマ) ≫

□ 森林公園 …スポーツ・レクリエーション活動の一大拠点

(対象:運動施設、遊戲施設、園路広場施設、休養施設)

□ 吉野ヶ里歴史公園 …国営公園と調和した環境保全・広域観光レクリエーションネットワーク拠点

(対象:修景施設、遊戲施設、園路広場施設、休養施設、教養施設)

□ 佐賀城公園 …歴史と文化を調和された総合公園

(対象:修景施設、遊戲施設、運動施設、園路広場施設、休養施設、教養施設)

評価指標:必要性

	評	価	要	素	点	数
対象施設の設置 状況	公園内に施設が	ない、	又は不	足し利用に支障をきたしている	3	О
	公園内に施設は	あるが	、不足	し利用に支障をきたす恐れがある	1	5
	公園内に施設が	あり、	十分満	足している	- 8	0

評価指標:利用度

	評 価 要 素	点 数
対象施設の利用 状況	平日、休日ともに多くの利用がある、又は見込まれる	3 0
	休日に多くの利用がある、又は見込まれる	1 5
	平日、休日ともに利用が少ない、又は多くの利用は見込まれない	0

₩ 佐賀県

Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

5. 新規評価マニュアル評価項目【実施環境】

〇評価視点:実施環境

評価項目: 利用者等からの要望 評価指標: 利用者等からの要望

	評 価 要 素	点 数
利用者等からの要望状況	国、又は、県の施策等に伴う設置が必要であり、かつ、利用者から の要望がある。	6 0
	国、又は、県の施策等に伴う設置が必要であり、又は、利用者から の要望がある。	4 0
	国、又は、県の施策等に伴う設置の必要も、利用者等からの要望もない。	0

評価項目:用地の状況 評価指標:用地の状況

	評	価	要	素	点	数
用地の状況	十分な用地が確保	できる。			4	0
	他の施設の配置を	2	0			
	既存の公園区域内	では十分	分な用力	也を確保できない。		0

評価項目:環境等

評価指標:自然環境保全 : 定性評価評価指標:生活環境対策 : 定性評価評価指標:コスト縮減策 : 定性評価

16

15

5. 新規評価マニュアル評価項目【評価基準・判断基準】

評価基準・判断基準

〇評価基準

評価	位置付け	必要性・効果	実施環境
A	80点以上	80点以上	80点以上
В	60点以上 80点未満	60点以上 80点未満	60点以上 80点未満
С	60点未満	60点未満	60点未満

〇判断基準

ランク	箇所整備方針	組み合わせ					
I	優先的に事業を実施	AAA	AAB				
II	事業を実施	АВВ	ВВВ				
Ш	新規着手を見合わせる	AAC	АВС	ACC	ввс	ВСС	CCC

まとめ

- ■今回追加する「新規評価マニュアル(整備系)」の対象は、 あくまで"既存の公園区域内における"「個別施設の増設・ (規模拡大等)」を評価の対象とする
- ■既存施設の修繕・単純更新は長寿命化計画に基づき実施
- ■新たな公園整備や、公園区域の拡大を伴うような大規模な施 設の設置については、"既存"の「新規評価マニュアル(整 備系)」に基づき評価を行うこととなる

維持

長寿命化計画に 基づく整備

増設・増強

"今回追加する"の新規評価 マニュアルに基づく整備

新設・大規模施設

"既存"の新規評価マニュアル に基づく整備

整備レベル(事業規模)

17

₩ 佐賀県

小

Copyright 2014 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

都市公園事業(施設整備)

〇評価視点:位置付け

評価項目:整備•事業計画

評価指標:県土づくり本部基本戦略

	評 価 要 素	点数
県土づくり本部	県土づくり本部の基本戦略に位置付けられている	1 0
基本戦略	県土づくり本部の基本戦略に位置付けられていない	0

評価項目:機能と役割

評価指標:実施目的の優先度

		i	評 危	<u>f</u>	要	素			点	数
		者サービスの 整備が下記「						行うものであり、 るものである	8	3 0
機能、都市								行うものであり、 するものである	7	7 0
防災、景観・環境保全等に関す	整備効果	公園施設のU 都市防災機能 緑の創出及び	もの向上 しゅうしゅう	に寄	与す	る	物生息等)の)向上に寄与する		
る事業の目 的の優先度		地域の活性化					こを動揺れ	= 5 + 0		
		者サービスの 目的が明確で		·リ/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1/ 1	止性を	: 日刊と	した登舗を1	1.7.80		0

評価項目:機能と役割

評価指標:国家的イベント等との関連

		評	価	要	素	点	数
国家的イベント	国家的イ	ベント、	県内フ	プロジュ	ェクト等に関連して整備を行うもの	1	0
等との関連	国家的イ	ベント、	県内に	プロジ:	ェクト等に関連が無い		0

〇評価視点:必要性·効果

評価項目:公園施設の現況分析 評価指標:公園施設別の重要度

	評 価 要 素	点数
公園利用に対す る対象施設の重 要度	各公園の主たる設置目的(テーマ)と合致した公園施設である	4 0
	上記以外の公園施設である	2 0
	公園施設ではない	0

≪各公園の主たる設置目的(テーマ)≫

□ 森林公園 …スポーツ・レクリエーション活動の一大拠点

(対象:運動施設、遊戯施設、園路広場施設、休養施設)

□ 吉野ヶ里歴史公園 …国営公園と調和した環境保全・広域観光レクリエーションネットワーク拠点

(対象:修景施設、遊戲施設、園路広場施設、休養施設、教養施設)

□ 佐賀城公園 …歴史と文化を調和された総合公園

(対象:修景施設、遊戲施設、運動施設、園路広場施設、休養施設、教養施設)

≪公園施設の例(都市公園法第2条及び同法施行令第5条より)≫

- ① 「園路及び広場」
- ② 「修景施設」 …植栽、花壇、噴水、池、つき山、彫像、灯籠、石組、飛石 等
- ③ 「休養施設」 …休憩所、ベンチ、野外卓、ピクニック場 等
- ④ 「遊戯施設」 …ぶらんこ、滑り台、シーソー、ジャングルジム、砂場 等
- ⑤ 「運動施設」 …野球場、陸上競技場、サッカー場、テニスコート 等及びこれらに付属する工作物
- ⑥ 「教養施設」 …植物園、動物園、水族館、図書館、陳列館、歴史上又は学術上価値の高いもの 等
- (7) 「便益施設」 …駐車場、水飲場、手洗場 等
- ⑧ 「管理施設」 …門、柵、管理事務所、標識、照明施設、くず箱、水道 等

評価指標:必要性

	評 価 要 素	点数
対象施設の設置 状況	公園内に施設がない、又は不足し利用に支障をきたしている	3 0
	公園内に施設はあるが、不足し利用に支障をきたす恐れがある	1 5
	公園内に施設があり、十分満足している	0

評価指標:利用度

	評 価 要 素	点 数
対象施設の利用 状況	平日、休日ともに多くの利用がある、又は見込まれる	3 0
	休日に多くの利用がある、又は見込まれる	1 5
	平日、休日ともに利用が少ない、又は多くの利用は見込まれない	0

〇評価視点:実施環境

評価項目:利用者等からの要望 評価指標:利用者等からの要望

	評 価 要 素	点 数
	国、又は、県の施策等に伴う設置が必要であり、かつ、利用者から	6.0
	の要望がある	0 0
利用者等から	国、又は、県の施策等に伴う設置が必要であり、又は、利用者から	4.0
の要望状況	の要望がある	4 0
	国、又は、県の施策等に伴う設置の必要も、利用者等からの要望も	0
	ない	U

評価項目:用地の状況 評価指標:用地の状況

	評 価 要 素	点数
用地の状況	十分な用地が確保できる	4 0
	他の施設の配置を見直す等により、用地が確保できる	2 0
	既存の公園区域内では十分な用地を確保できない	0

評価項目:環境等

評価指標:自然環境保全 : 定性評価評価指標:生活環境対策 : 定性評価評価指標:コスト縮減策 : 定性評価